

新春 特別インタビュー

日高義博
学校法人専修大学
理事長

佐々木重人
専修大学長

尾池 守
石巻専修大学長

小宮多喜次
専修大学校友会長

創立140年

今だからこそ、 創立者に聞きたい

昨年引き続き、新春トップ4インタビューをお届けします。

来年には専修大学140周年、神田新校舎完成、新学部スタートという節目を迎えるにあたって、

今だからこそ専修大学創立者の4人に尋ねたいことというテーマでお話いただきました。

興味深い質問、そして、必ずやこう答えてくださるだろうという予想も合わせてお楽しみください。

専修大学創立者

相馬
永胤



彦根藩士の家に生まれる。ニューヨーク州ピークスキル学院商業課程を卒業後、コロンビア法律学校(現・コロンビア大学)へ進学。日本法律会社の結成で中心的役割を果たす。専修学校を創立後、衆議院議員、横浜正金銀行頭取などを務める。初代校長、初代学長。

田尻
稲次郎



薩摩藩士の家に生まれる。慶應義塾から開成学校を経て渡米。エール大学で経済学・財政学の勉強に没頭し、大学院まで進み、この時期に相馬永胤、駒井重格と友情を結ぶ。専修学校創立後、大蔵省に入省。大正7年には東京市長となる。

目賀田
種太郎



幕臣の家に生まれる。幼少から昌平坂学問所で漢学を学び、開成所で英語、数学を修めて神童と呼ばれる。明治5年に渡米しハーバード法律学校(現・ハーバード大学)へ入学。専修学校創立後は横浜税関長、大蔵省主税局長、枢密顧問官などを歴任。

駒井
重格



桑名藩士の家に生まれる。ニューブランズウィックの大学予備校で2年間学んだ後、ラトガース大学で経済学を修める。専修学校創立後、大蔵省入りしたが、岡山中学校、岡山師範学校の教師兼校長へ。高等商業学校(現・一橋大学)では名校長と慕われた。